

意見をつくる

「借り物の言葉」から「自分の言葉」に変わる思考の型

羽田康祐 k_bird



《目次》

- 第一章 「意見」と「それ以外」
——なぜ、あなたの「正論」はスルーされるのか
- 第二章 思考のエンジン「解釈力」
——「事実」に意味を与える
- 第三章 判断のコンパス「価値基準」
——「違和感」を自分軸に変える
- 第四章 意見の構築「FIVEフレームワーク」
——思考を形にする型
- 第五章 伝える技術
——「勝つ」ためではなく「貢献」のために
- 第六章 「意見力」養成プログラム
——忙しくても“自分の意見”は磨ける

《書誌情報》

本体価格-----1750円
 ISBN-----978-4-86680-369-2
 ページ数-----240
 判型-----四六判並製

AI時代に差がつくのは「正解」ではなく「意見」である。生成AIが情報収集や分析を瞬時に行う時代、「正しい答え」を出す力は急速にコモディティ化しています。これからのビジネスパーソンに求められるのは、情報をもとに自分なりの判断を示す「意見をつくる力」です。本書は、外資系コンサルティングファームと広告会社の両方を経験した著者が、ビジネスの最前線で培った思考法を体系化した一冊。会議や議論で求められる「意見」とは何かを明らかにし、感想でも評論でもない、説得力のある意見をつくる方法を解説します。

「感想」で終わらない、意見のつくり方

本書では、意見を「Fact（事実）」「Interpretation（解釈）」「Value（価値基準）」「Expression（表明）」の4つの要素で構造化。事実を集め、意味づけし、自分なりの判断軸を持ち、相手に伝わる言葉で表明するまでのプロセスを、FIVEフレームワークとして紹介します。全6章を通じて、「意見」と「感想」「知識」の違い、解釈力の鍛え方、自分軸のつくり方、対話を生む伝え方、1日15分の意見力トレーニングまでを段階的に学べる構成です。



《著者》羽田康祐（はだこうすけ） k_bird

株式会社朝日広告社プランニングディレクター。産業能率大学大学院経営情報学研究科修了（MBA）、日本マーケティング協会マーケティングマスターコース修了。外資系コンサルティングファームなどを経て現職。コンサルティングで培ったロジックと、広告代理店で磨いた発想力を掛け合わせ、メーカー・金融・小売りなど幅広い業種のマーケティング、ブランディング、ビジネス課題解決を支援。ブログ「Mission Driven Brand」を運営。著書に『問題解決力を高める「推論」の技術』『本質をつかむ』などがある。

初版 5500部（2026年3月）